

- 問1 1931年、奉天（現在の瀋陽）郊外の柳条湖で南満州鉄道の線路が爆破される事件が発生しました。この事件をきっかけに、現地の日本軍が中国東北部（満州）の占領を進めた一連の軍事行動を何とといいますか。（2023年 大分県公立入試 類似）
1. 北伐 2. シベリア出兵 3. 満州事変 4. 日中戦争
- 問2 1929年の出来事以降、ドイツにおいてナチ党が急速に勢力を伸ばし、1933年に政権を獲得するに至った背景の説明として最も適切なものを選びなさい。（2025年 徳島県公立入試 類似）
1. 軍備を全廃して平和外交を推進し、周辺国との経済協力を強化したから。 2. 失業者をさらに増やす政策を実施し、国民の危機感をあおったから。 3. 世界恐慌により急増した失業者を減らす政策などを掲げ、国民の不安や不満を受け止めたから。 4. 海外の広大な植民地を活用して自国と植民地間でのブロック経済を構築したから。
- 問3 第一次世界大戦の終結後から第二次世界大戦が始まるまでの国際情勢について、次の出来事を年代の古い順に並べたものとして正しいものはどれか。（2025年 青森県公立入試 類似）
1. ワシントン会議 → ドイツのポーランド侵攻 → ニューディール政策 2. ワシントン会議 → ニューディール政策 → ドイツのポーランド侵攻 3. ニューディール政策 → ワシントン会議 → ドイツのポーランド侵攻 4. ニューディール政策 → ドイツのポーランド侵攻 → ワシントン会議
- 問4 昭和金融恐慌の際、銀行に押し寄せる人々への支払いに充てる現金を至急確保するため、日本銀行がとった異例の対応として正しいものはどれですか。（2023年 熊本県公立入試 類似）
1. 硬貨の原料となる銅を節約するため、陶器製の貨幣を大量に流通させた 2. 印刷の時間を短縮するため、裏面が白紙のままの二百円札を発行した 3. 紙幣の代わりに、政府が発行する「米切手」を強制的に使用させた 4. 偽造防止を優先し、透かしの技術を極限まで高めた新紙幣を数年かけて開発した
- 問5 世界恐慌後の世界において、第二次世界大戦へとつながる「経済的要因」を説明した文章として、最も適切なものを選びなさい。（2018年 京都府公立入試 類似）
1. 新興工業国における労働力不足が深刻化し、周辺諸国との間で資源の争奪戦が始まった。 2. 主要な列強が自国の経済保護を優先して排他的な貿易圏を構築したことが、他国との対立を激化させた。 3. 第一次世界大戦の直後に国際連合が設立されたことで、各国の自由な貿易が制限された。 4. ソ連の社会主義体制が崩壊したことで、東欧諸国の経済が混乱し、世界的な不況が拡大した。
- 問6 1929年から始まった世界恐慌に対して、当時の主要国がとった対策やその影響について述べた文として、正しいものはどれですか。（2020年 佐賀県公立入試 類似）
1. アメリカはローズベルト大統領のもと、政府が経済に介入して失業者を救済するニューディール政策を実施した。 2. 日本は世界恐慌の影響を全く受けず、満州事変をきっかけに軍需景気が沸き起こり、いち早く経済成長を遂げた。 3. ドイツやイタリアなどの植民地が少ない国々は、自国内の市場だけで経済を立て直すブロック経済を確立した。 4. イギリスやフランスは、自国の通貨安を誘導して世界中の国々と自由貿易を促進する政策を採用した。
- 問7 満州国の建国1周年を記念した当時のポスターには、和装・中華服・朝鮮服をそれぞれ着た女性たちが並んで描かれ、多民族の共生が強調されていました。こうした宣伝が行われる中、日本国内の不況対策や現地支配の強化を目的として、組織的に進められた日本人の移住政策を何と呼びますか。（2024年 福島県公立入試 類似）
1. 満蒙開拓 2. 屯田兵の配備 3. 北海道開拓 4. シベリア出兵
- 問8 世界恐慌に直面した当時のアメリカ合衆国の状況において、ルーズベルト大統領が進めたニューディール政策の具体的な内容として最も適切なものを、次の説明から選びなさい。（2018年 千葉県公立入試 類似）
1. 自由な市場経済を否定し、政府がすべての生産と分配を管理する徹底した計画経済を導入した。 2. 本国と植民地の経済的な結びつきを強め、他国の商品に対して高い関税をかけて締め出した。 3. テネシー川流域でのダム建設などの公共事業を積極的に起こし、失業者の雇用を創出した。 4. 軍備増強と領土拡大を強行し、軍需産業を拡大させることで国内の失業問題を解決しようとした。
- 問9 明治時代から昭和時代初期にかけて、日本の社会情勢や人々の生活は大きく変化しました。これらに関する出来事を時期の古い順に正しく並べたものはどれですか。（2023年 宮城県公立入試 類似）
1. 戦時下の物資不足による配給制が長期間続いた後、近代化政策の一環として太陽暦が導入され、大正デモクラシーの時期にラジオ放送による娯楽が普及した。 2. 文明開化の中で太陽暦が採用されて新しい暦が始まった後、大衆文化が広まる中でラジオ放送が開始され、やがて戦時体制が強まると生活必需品の配給制が実施された。 3. 洋風の住宅が普及し始めた時期に生活必需品の配給制が始まり、その混乱を収めるために太陽暦が採用され、最後にラジオ放送による戦意高揚が行われた。 4. 都市部でラジオ放送が開始されて情報の伝達が進んだ後、西洋の制度を取り入れるために太陽暦が採用され、最終的に物資不足を解消するために配給制が導入された。
- 問10 1930年代のドイツにおいて、世界恐慌による経済混乱を背景に選挙で支持を広げ、政権を握ったヒトラーとナチス（国民社会主義ドイツ労働者党）が行った独裁政治の具体的な内容として、最も適切なものはどれですか。（2023年 福島県公立入試 類似）
1. 国際連盟の活動を重視し、ヨーロッパ諸国との平和的な軍縮交渉を進めた。 2. ワイマール憲法を厳格に遵守し、多党制による議会民主主義を徹底した。 3. ムッソリーニを指導者として仰ぎ、イタリア国内でファシスト党による独裁を支援した。 4. アーリア民族の優越を主張し、ユダヤ人などの特定の人々を激しく迫害した。
- 問11 1927年に発生した経済混乱において、銀行の経営悪化を懸念した預金者が、預金を引き出すために一斉に銀行へ押し寄せる事態が発生しました。このような現象を何と呼びますか。（2023年 新潟県公立入試 類似）
1. ストライキ 2. 打ちこわし 3. 米騒動 4. 取り付け騒ぎ
- 問12 1930年代後半から1940年までの日本の出来事の時期や順序について述べた文として最も適切なものを、次の選択肢から1つ選びなさい。（2025年 熊本県公立入試 類似）
1. 1940年に日独伊三国同盟が締結された後、1938年に国家総動員法が制定された。 2. 1938年に国家総動員法が制定された後、1940年に日独伊三国同盟が締結された。 3. シベリア出兵への対策として、1940年に日独伊三国同盟が締結された。 4. 五・一五事件の直後に、欧州情勢に対応して日独伊三国同盟が締結された。